

《問い合わせ先》

第十一管区海上保安部 海洋情報監理課

課長 馬場 典夫

098-867-0118 (内線 2510)



第十一管区海上保安本部

平成25年7月26日

第142回水路記念日講演会・海洋情報パネル展の開催

来る9月12日の第142回水路記念日を記念し、第十一管区海上保安本部主催により記念講演会及びパネル展を開催します。

1. 水路記念日講演会

開催日時 平成25年9月12日(木)

開催場所 沖縄県立博物館・美術館 博物館講座室

講演会テーマ 海洋調査・研究を支える水路技術

講演内容

- ・ 沖縄周辺の海底に眠るサンゴ礁の化石
琉球大学理学部物質地球科学科 准教授 藤田和彦 博士
- ・ 南西諸島における水中文化遺産の魅力
沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員 片桐千亜紀 氏
- ・ 最新の海洋測量・調査技術について
東京大学生産技術研究所海洋工学国際研究センター 特任准教授 ソートン・ブレア博士
- ・ 沖縄周辺の海底地形について～最新の調査結果から～
第十一管区海上保安本部

申し込み

定員100名(参加費無料、要事前登録)

参加の申し込みは、下記の申し込み先まで事前に、参加代表者の氏名、所属、参加人数及び連絡先をお知らせください。

申し込み先 海洋情報監理課 監理係

電話：098-867-0118

ファックス：098-868-5242

電子メール：sodan11@jodc.go.jp



昨年の講演会風景

2. 海洋情報パネル展・臨時海の相談室

開催期間 平成25年8月17日(土)～9月17日(火)

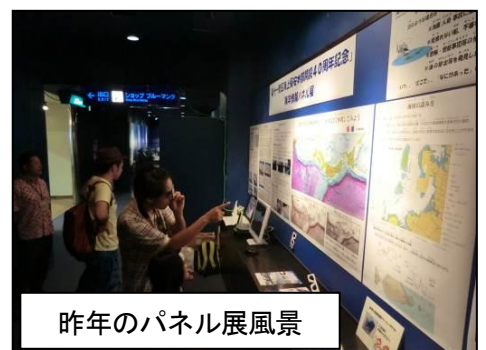
臨時海の相談室 8月24日(土) 13時～16時

開催場所 沖縄美ら海水族館

1階ポスター掲示コーナー(出口付近)

展示内容

3D日本周辺海域の海底地形図、海底地形の測り方、
今と昔の海図 等



昨年のパネル展風景

水路記念日とは

明治2年（1869）8月兵部省が設置され、翌3年3月その下に海軍掛と陸軍掛との分課が設けられました。

旧暦の明治4年（1871）7月28日に兵部省が海軍部と陸軍部に分けられ、この時、海軍部に第1秘史局、第2軍務局、第3造船局、第4水路局、第5会計局の5局が置かれました。ここに、当時わが国の緊急課題であった日本沿岸の安全を図るための海図作りを使命とした水路局が初めて誕生したのです。

昭和26年（1951）の水路部創立80周年記念事業を期に、その後、毎年7月28日を水路部の創立の日として制定していましたが、昭和46年（1971）の創立100年を期して、太陰暦から太陽暦に換算し、9月12日を創立の日とし、以後、この日を水路記念日としています。

当時の実務は、勝海舟らとともに長崎海軍伝習所においてオランダ式の航海・測量術を学んだ津藩出身の柳檜悦（やなぎ ならよし）少佐〔初代水路部長〕を中心として東京築地の海軍兵学寮（後の兵学校）の一室で、現在の水路業務の基礎がスタートし、日本人による近代的な海図作りが精力的に開始されました。



第142回水路記念日講演会

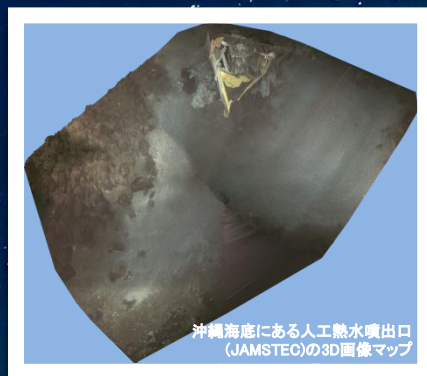
～ 海洋調査・研究を支える水路技術 ～

日時 : 平成25年9月12日(木) 13:40～17:00
場所 : 沖縄県立博物館・美術館 博物館講座室
定員 : 100名(要事前予約)
お問合せ : 第十一管区海上保安本部海洋情報監理課
電話 098-867-0118(2513)

入場料無料

講演題目

1. 沖縄周辺の海底に眠るサンゴ礁の化石
琉球大学理学部
藤田 和彦 博士
2. 南西諸島における水中文化遺産の魅力
沖縄県立博物館・美術館
片桐 千亜紀 氏
3. 最新の海洋測量・調査技術について
東京大学生産技術研究所
ソートン ブレア 博士
4. 沖縄周辺の海底地形について
～最新の調査結果から～
第十一管区海上保安本部
春日 茂 氏



主催 第十一管区海上保安本部
後援 海洋調査技術学会
協力 沖縄県立博物館・美術館

第 142 回水路記念日記念講演会プログラム

～ 海洋調査・研究を支える水路技術 ～

13:00 開 場

13:40 開会の挨拶

第十一管区海上保安本部長 中島 敏 氏

13:50 講演1: 沖縄周辺の海底に眠るサンゴ礁の化石

琉球大学 理学部 准教授 藤田 和彦 博士

〔要旨〕 最近世界各地のサンゴ礁海域の海底で氷期と呼ばれる現在よりも気候が寒い時期に形成されたサンゴ礁の化石が見つかっています。サンゴ礁海域の中では比較的高緯度に位置する沖縄周辺でも見つかるのでしょうか？サンゴ礁の化石に関する最新の研究成果と沖縄周辺海域における今後の研究の展開について紹介します。

14:30 講演2: 南西諸島における水中文化遺産の魅力

沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員 片桐 千亜紀 氏

〔要旨〕 四方を海に囲まれた沖縄、そこに住む人々は先史時代から琉球王国時代を経て現在に到るまで海と深い関係を結んで生きてきました。海底には海を介した人類活動の痕跡が遺跡として残されています。近年、沖縄における水中文化遺産の悉皆的な調査が実施され、その様相が明らかになりつつあり、その魅力を紹介します。

15:10 休 憩

15:25 講演3: 最新の海洋測量・調査技術について

東京大学 生産技術研究所 特任准教授 ソートン ブレア 博士

〔要旨〕 数 100m より深い海底では、太陽由来のエネルギーがわずかであるため、深海生物の分布は海底におけるエネルギーホットスポットに大きく依存しています。熱水噴出域は、海底資源として注目されると同時に、海底におけるオアシスとなり、高い集中度のハビタットをサポートする事が知られています。本発表では、このようなハビタットを広範囲で可視化できる海中ロボットを使った 3D 画像マッピングなどの、最新の調査技術について紹介します。

16:05 講演4: 沖縄周辺の海底地形について～最新の調査結果から～

第十一管区海上保安本部次長 春日 茂 氏

〔要旨〕 海上保安庁では航海安全のためや海洋権益保全のために海洋調査を実施しており、最新の調査結果から、沖縄特有の海底地形が発見されるなど興味深い成果が得られています。これら最新の調査成果を交え海上保安庁をこれらの取り組みを紹介します。

16:35 総合討論

17:00 閉 会

■ 申込み方法

講演会の参加は無料ですが、参加人数把握のため以下まで参加者代表者名、御所属、参加人数及び連絡先をお知らせください。なお、お知らせいただきました情報は講演会開催以外の目的に使用しません。

博物館・美術館の観覧には観覧料が必要となります。

申込み先 : 第十一管区海上保安本部海洋情報監理課

電 話 : 098-867-0118(2513), ファックス:098-868-5242

電子メール : sodan11@jodc.go.jp

■ 会場へのアクセス

住所: 沖縄県那覇市おもろまち 3 丁目 1-1

バス: 那覇空港発 99 番線 おもろまち 3 丁目バス停下車 徒歩 5 分

那覇空港発 120 番線 上之屋バス停下車 徒歩 10 分

市内線 3・7・10 番線 県立博物館前バス停下車

市内線 6 番線 那覇メインプレイス東口バス停下車 徒歩 5 分

市外線 バイパス経由 おもろまち駅前バス停下車 徒歩 10 分

おもろまち行 おもろまち 1 丁目バス停下車 徒歩 3 分

沖縄都市モノレール:

ゆいレール おもろまち駅下車 徒歩 10 分

